



中間考査実施中 最終日です。串木野高校校長です。よろしくお願いいたします。

今回のテーマは、「**成績について**」です。

おととい5/15 水はPTA 総会でした。保護者の皆様のご出席・ご協力ありがとうございました。情報セキュリティ講座としてネット通販や SNS への注意喚起なども参考になることでした。私からは、自転車通学生のヘルメット着用のお願ひなどもさせていただきました。

さて、生徒たちは、**5/15(水)～17(金)の今日まで、1学期中間考査**を実施しました。

高等学校は義務教育ではない、と言われますが、いったいどこが義務教育と異なるのか、と疑問に思われるところもあるかと思います。義務教育は、**国民が共通に身に付けるべき公教育の基礎的部分を、だれもが等しく享受しうるように制度的に保障するもの**、とされています。(高校は義務教育ではないと言われても、ほぼ100%の高校進学率です。基礎的知識を充実させることは大切なことです。)

高校では、**①普段の学習をしっかりとし、②評価(中間考査のような)を行い、③満足できる成績(合格点)を取り、④単位を修得し、⑤進級、卒業が認定**される、ということが大きな違いかもしれませんが、逆に申し上げますと、成績不良、理由のない欠席の多さ、などがあると、**原級留置**と言いますが、いわゆる留年(もう一度、同じ学年をやり直すこと)などがあります。

成績は評価規定として、決めてあります。試験一発勝負で、決定するというわけではありません。通常の出席状況、提出物、授業中の態度、宿題、など総合的に判断されます。また、実習の伴う、体育や家庭、情報などの授業においては、その成果物、レポートや、技能の向上なども、いわゆる平常点として加味されます。

- 学年末の評価として、指導要録という個人の記録には、54321の、「**評定**」がつきます。
5は、十分満足できるもののうち、特に程度が高い 4は、十分満足できる
3は、おおむね満足できる 2は、努力を要する 1は、努力を要する(単位認定が出来ない)
- 新学習指導要領では、観点別評価も実施されているということもご理解ください。
観点別評価とは、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」という、3観点をABCという記号で表します。
Aは、十分満足できる、Bは、おおむね満足できる、Cは、努力を要する という意味です。

それらが、合わさった形で、例えば通知表においては、次のような形で表されます。

観点別評価の3観点(知・思・主の順に)	評定	評点	修得単位数
ABA	4	75 点	2

詳しくは、担任が説明しておりますので、お子さんからお聞きください。

また、**欠席について心配**されることもあろうかと思います。ヒトは風邪をひくことはありますので、**無理せず体調を整えてください**。無遅刻、無欠席者には、皆勤賞として賞状を渡してはありますが、固執することなく、体調と相談してください。自分の健康が一番です。

もちろん、競技会や研究会などで欠席の場合は、「**公欠**」という出席扱いをいたします。

不幸があった際の、「**忌引き**」についても出席停止として、欠席の扱いはしません。

数年前のコロナ感染症なども、出席停止ですし、進学等の受験による休みも、出席停止です。

3年生になると、就職先や、受験先の大学、短大、専門学校、企業等に願書や履歴書、調査書等を送ります。高校からは、(担任から・進路から)上記のような、成績や出欠について、高校でどのように過ごしたのかという事実を送る必要があります。

1年生にとっては、高校最初の試験でしたので、お知らせしておきたいことでした。(今回の通信は、文字ばかりになってしまいました。申し訳ありません。) よろしくお願ひいたします。

串木野高校 頑張っています。

校長 堂蘭